

相模原マンドリン倶楽部

第40回定期演奏会



2025年10月19日（日）14:00 開演

相模女子大学グリーンホール 大ホール

後援：相模原市・相模原市教育委員会

♪ ご挨拶 ♪

本日はご多忙の中、相模原マンドリン倶楽部第40回定期演奏会にお越しいただき誠にありがとうございます。

相模原マンドリン倶楽部は1977年（昭和52年）の創部以来、今年で48年となり、社会人のマンドリン団体として県下では最大規模の合奏集団へと成長いたしました。今回は、第Ⅰ部では少し早いですがクリスマスの曲3曲を演奏し、第Ⅱ部では定期演奏会第40回の節目に新たな世界を目指すべく、ドヴォルジャークの大作「新世界より」全曲を演奏します。

秋の昼下がりのひとときをマンドリン音楽でごゆっくりお楽しみください。

♪ 演奏曲目 ♪

指揮：新井 義輝

第Ⅰ部 近づくクリスマス

1. 小組曲「降誕祭の夜」

作曲：アメデオ・アマデイ

第1楽章 笛の歌

第2楽章 厩にて（夜想曲）

第3楽章 ハレルヤ

2. バレエ音楽「くるみ割り人形」より

作曲：ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー

パ・ド・ドゥ

編曲：新井義輝

3. クリスマス・フェスティヴァル

作曲：ルロイ・アンダーソン

編曲：新井義輝

-----休憩 15分-----

第Ⅱ部 定期演奏会第40回の節目に

交響曲第9番 ホ短調 作品95

作曲：アントニン・ドヴォルジャーク

「新世界より」

編曲：新井義輝

第1楽章 アダージョ - アレグロ・モルト

第2楽章 ラルゴ

第3楽章 スケルツォ（モルト・ヴィヴァーチェ）

第4楽章 アレグロ・コン・フォーコ

♪曲目紹介♪

●小組曲「降誕祭の夜」(Notte Di Natale, Piccola Suite)

作曲：アメデオ・アマデイ (Amedeo Amadei ; 1886-1935)

アマデイはイタリアの作曲家。数多くのマンドリンの合奏曲や編曲を残し、わが国でも彼の作品は多数演奏されている。本曲は、1935年にイタリアのミラノで刊行されていたマンドリン誌「イル・プレットロ」に掲載された、彼の最後の曲である。「降誕祭」とはキリストの誕生を祝う祭りであり、クリスマスの夜のさまざまな情景が描かれている。

●バレエ音楽「くるみ割り人形」より パ・ド・ドウ (Pas de deux из балета «Щелкунчик»)

作曲：ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー (Пётр Ильич Чайковский ; 1840-1893)

バレエ音楽「くるみ割り人形」は、クリスマス・イヴにくるみ割り人形を贈られた少女が、人形と共に夢の世界を旅するという物語であり、チャイコフスキーの代表作の1つである。一般名称としての「パ・ド・ドウ」は、フランス語で「2人のステップ」の意であり、バレエ作品において男女2人の踊り手によって展開される踊りをいう。バレエ「くるみ割り人形」において「パ・ド・ドウ」は、夢の世界で訪れたお菓子の国の女王である金平糖の精と王子が、クライマックスで踊る。

●クリスマス・フェスティヴァル (A Christmas Festival)

作曲：ルロイ・アンダーソン (Leroy Anderson ; 1908-1975)

アンダーソンはアメリカの作曲家。「トランペット吹きの日」「プリンク・プランク・プルンク」「タイプライター」といった軽快な曲を多く作曲した。本曲は、「もろびとこぞりて」「ひいらぎを飾ろう」「ゴッド・レスト・ジー・メリー・ジェントルメン」「グッド・キング・クエンセスラー」「ハーク！ザ・ヘラルド・エンジェルズ・シング」「きよしこの夜」「ジングル・ベル」「アデステ・フィデリス」の8つの有名なクリスマス曲が、アンダーソンによりメドレー形式でオーケストラ向きに編まれたものである。

●交響曲第9番 ホ短調 作品95「新世界より」(Symphony No. 9 in E minor, Op. 95 "From the New World")

作曲：アントニン・ドヴォルジャーク (Antonín Dvořák ; 1841-1904)

本曲は、チェコ (ボヘミア) の作曲家アントニン・ドヴォルジャークによって1893年に作曲された。この交響曲は、ドヴォルジャークがアメリカ合衆国滞在中に作曲したもので、故郷チェコ (ボヘミア) への郷愁を込めて作曲したと言われている。また、アメリカの風景や文化に触発されていると言われており、特にアメリカの先住民の音楽やアフリカ系アメリカ人の民謡に影響を受けているとされ、ヨーロッパ的な伝統と新世界 (アメリカ) の要素を融合させた作品である。

本曲の特徴的な部分は、全体を通して感じられる壮大さと力強さである。第2楽章のメロディは深い情感を持ち、わが国では「遠き山に日は落ちて」で始まる歌詞が付され、「家路」という通称で知られている。また、第4楽章の序奏部分は、誰もが何度も聞いたことがあるであろう。この楽章の終わりには強烈なエネルギーと華やかさが広がり、これにより、作品全体に力強い印象が与えられている。

ドヴォルジャークは鉄道好きとされており、特に第3楽章の終末部や第4楽章の冒頭部に、蒸気機関車が率いる列車の停車と発車のイメージが見え隠れするように思われる。

総じて、この交響曲は音楽的に多様な要素を取り入れつつも、普遍的な魅力を持つ作品として広く愛され続けている。

(参考資料として、オザキ譜庫website、Wikipedia等より引用させていただいたほか、ChatGPTの力を借りました。)

♪ 指揮者紹介 ♪

明治大学商学部、および東京音楽大学指揮科卒業。指揮を三石精一、久保田孝の各氏に師事。2003年よりプロ音楽家による音楽集団『チェンバーミュージックハウス』を主宰。

音大在学中から各地の市民オペラやオーケストラ、マンドリンアンサンブル、吹奏楽、合唱など幅広い分野での指揮、指導にあたる。多彩なレパートリーをもち、作品の丁寧な読み込みや的確なアドバイス、メリハリのある音楽作りの姿勢や指揮ぶりなどにより器楽奏者、歌手から演出家にいたるまで絶大な信頼を得ている。

また、主にマンドリン音楽の作曲・編曲を手掛け、代表作「小組曲」などの作品が各地で度々再演されている。

♪ メンバーの紹介 ♪

◎トップ ○サブトップ ☆賛助出演

Concert Mistress	窪田成子					
1st Mandolin	◎窪田成子	○山崎了三	石本友子	桑田久美子	佐藤陽平	藤間夏子
	中重亜由美	仁尾真里	舟田徳穂	木田絹子	宮部美智子	森 陽子
	吉岡直美	吉野昌重				
2nd Mandolin	◎梅澤典子	○松本美千代	饗庭裕子	阿川陽子	綾部文子	池田百合子
	大沼和江	金澤葉子	河合桂子	京増万由美	児玉三保子	小貫カツ子
	田嶋稔一	永嶋久美子	福谷隆治	宮原善子		
Mandola	◎寺田美千代	○小竹由美	岡林誠士	小竹義範	中村佑梨奈	笛木和美
	三木善二	峯田福代	三村乃之			
Mandolon-cello	◎藤田尚美	○村田昌子	飯田正男	小澤健二郎	鈴木すみ子	
Guitar	◎浦田富男	○原田 治	赤羽 浩	岩城 納	加登文子	
	田中厚子	中西茂樹	新田美佐子	福間悦子	和田真紀子	
Contrabass	◎加藤規康	○錦戸雅子	鈴木保彦			
Percussion	☆佐々木佳奈	☆村上響子				

司会 ☆高橋理恵 (FM 江戸川)
ステージ・マネージャー 村田昌子 ☆野沢孝広

部長 小澤健二郎
マネージャー 児玉三保子 中村佑梨奈 田中厚子 森 陽子
技術委員長 中西茂樹
技術副委員長 原田 治
部内指揮者 中西茂樹 藤田尚美

♪ 倶楽部紹介・部員募集 ♪

約60名の部員がおり、年齢層も広く、多様な職業に就いている忙しい人の集まりです。月3回の練習は、平均80%以上の高い参加率で、マンドリン音楽を楽しんでいます。夫婦参加の部員もおります。皆さんも仲間に入り演奏してみませんか。お待ちしております。



←倶楽部 Website の
部員募集ページは
こちらから

♪ 第41回 (2026年) 定期演奏会の予定 ♪

日時 2026年10月24日(土) 14時開演
場所 相模原市民会館 (会場が今年と異なる場所となります。)
詳細は倶楽部 Website (右 QR コード) に掲載致します。
問い合わせ先 小澤健二郎

